

【参考】あいち農業イノベーションプロジェクトについて

愛知県では、農業総合試験場や大学が有する技術、フィールド、ノウハウとスタートアップ等の新しいアイデアや技術を活用した共同研究体制の強化を図り、新しい農業イノベーションを創出するために「あいち農業イノベーションプロジェクト」を2021年度から開始しています。

現在、2022年度に選定した18課題の「研究開発型」のイノベーション創出にスタートアップ等と農業総合試験場が共同で取り組んでいます(2025年8月4日経済産業局発表済み。)。

また、今年度、2026年度から新たに3年間の共同研究開発に取り組む5課題を選定しました(2025年10月22日発表済み。)。

このほか、2024年度からは、県の普及指導員がスタートアップ等と産地を結び、現場の「ほ場」で既存技術の応用や機器の改良、アプリの開発などを行うことで、課題解決に必要な新技術の迅速な導入を目指す6課題の「現場フィールド活用型」のイノベーション創出にも取り組んでいます(2025年9月30日発表済み。)。

「研究開発型」課題の概要

No.	共同研究の相手 (所在地)	概要
プロジェクト2023(2022年度に選定し、2023~2025年度に取り組む18課題)		
1	株式会社誠和。 (栃木県下野市) テラスマイル株式会社 (宮崎県宮崎市)	データプラットフォームによる栽培管理の効率化と収穫予測システムの開発
2	株式会社ジェイテクト (刈谷市)	収穫作業における肉体的な負担軽減のための農業用アシストスーツの開発
3	鋤柄農機株式会社 (岡崎市)	気候変動による夏季の湿害回避のため、大豆の出芽不良を回避することができる高速播種機の開発
4	サイポート株式会社 (名古屋市中区)	マルチスペクトルカメラ間の生育推定式の互換性を確保する技術の開発
5	GREEN OFFSHORE株式会社 (静岡県浜松市中央区)	県内で広く普及している環境測定装置と連動した灌水制御システムの構築
6	Green Drop〔起業予定〕 (名古屋大学)	植物の生体分子を検知するマーカーの開発による、生産現場での植物診断を行う技術の開発
7	株式会社AGRI SMILE (東京都千代田区)	環境・生育データを利用したカンキツの栽培管理技術の最適化及び生育予測技術の開発
8	株式会社TOWING (名古屋市千種区)	愛知の野菜品目(キャベツ・トマト)における高機能バイオ炭利用技術の開発
9	入部百合絵氏〔起業予定〕 (愛知県立大学) ファーマーズサポート株式会社 (鹿児島県鹿児島市)	牛の発情を鳴き声とカメラ画像から検知し、通知するシステムの開発(2者共同実施による選定)

No.	共同研究の相手 (所在地)	概要
10	高須正規氏〔起業予定〕 (岐阜大学)	豚の超音波画像診断による採卵・受精卵作製技術の開発
11	グランドグリーン株式会社 (名古屋市千種区)	ゲノム解析を用いた虫害耐性水稻品種の開発及びゲノム編集技術を用いた花き新品種の開発
12	株式会社セツロテック (徳島県徳島市)	独自のゲノム編集因子を用いた花きの新品種開発
13	センスコム合同会社 (長久手市)	灌水や施肥などの遠隔制御を見据えた低コストな茶園の IoT 土壤管理技術の開発 試作品開発
14	株式会社ニッポンジーン (東京都千代田区)	簡易な DNA 濃縮技術（農業総合試験場開発技術）を用いた環境 DNA の検出キットの開発 試作品開発
15	株式会社ミライ菜園 (名古屋市昭和区)	大葉を対象としたスマートフォンによる AI 病害虫診断技術の開発 試作品開発
16	ジカンテクノ株式会社 (大阪府大阪市福島区)	高機能カーボン・植物性シリカ等による保温技術の開発 試作品開発
17	高圧ガス工業株式会社 (大阪府大阪市北区)	企業等から排出される炭酸ガスを活用したイチゴ群落内施用システムの開発 試作品開発
18	ウォーターセル株式会社 (新潟県新潟市)	生産者の栽培状況やこだわりなどの情報を PR する有機米等の販売促進サービスの構築 社会実装済み
プロジェクト 2026 (2025 年度に選定し、2026~2028 年度に取り組む 5 課題)		
19	日本製紙株式会社 (東京都千代田区)	天然由来の成分を用いた脱プラスチック農業用マルチの開発
20	株式会社地域環境計画 (東京都世田谷区) 日栄産業株式会社 (栃木県佐野市)	「アライグマ」と「ハクビシン」の習性を利用した畠の開発
21	株式会社きゅうりトマトなすび (東京都文京区)	お茶のベストな摘みどきを AI で自動判定する技術の開発
22	イノチオプラントケア株式会社 (豊橋市) 日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社 (大阪府枚方市)	ドローン散布に向く園芸施設用高機能遮熱剤の開発
23	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学 (名古屋市千種区) 株式会社レゾナック (東京都港区)	作物の力を引き出すバイオスティミュラント（生物刺激剤）の開発

「現場フィールド活用型」課題の概要

No.	共同研究の相手 (所在地)	概 要
1	株式会社 I T 工房 <small>アイティ ジー</small> (名古屋市中区)	ハウス内の温度、湿度などの環境の変化が植物の生長に与えた影響を見る化し、栽培管理に活かすアプリの開発
2	GREEN OFFSHORE 株式会社 (静岡県浜松市中央区)	生育状況や栽培環境のデータから、高品質な果実生産を可能にするアプリの開発
3	日本農薬株式会社 (東京都中央区)	県内各地のイネカメムシの発生状況をリアルタイムに可視化し対策につなげるアプリの開発
4	株式会社新美利一鉄工所 (岡崎市)	花きの病気を防除する UV-B ランプについて、植物や施設の資材への影響を軽減するアタッチメントの開発
5	有限会社杉浦発条 (高浜市)	キュウリのつる下げる作業の省力化に寄与する器具の作成
6	トヨタネ株式会社 (豊橋市)	暑熱で発生するトマトの裂果を防止し、力が弱い作業者でも使い続けられる器具の開発